

ホノルル教育會編纂

副日本語讀本

三

もくじ

一	すずしい風……………	一
二	森の王様……………	三
三	金太郎……………	六
四	日の光……………	十一
五	かげぼうし……………	十四
六	ふしぎな水……………	十六
七	牛わかまる……………	二十一
八	かまくらえび……………	二十六
九	あわてどこや……………	三十
十	獅子と兎……………	三十三
十一	人形の手紙……………	四十三
十二	なぞのくつ……………	四十五
十三	少女小松……………	(一)
	(二)……………	五十一
	(三)……………	五十四
十四	鯉のぼりのうた……………	五十八

もくじ

一

副讀三

十五 鯉のぼり……………五十九

十六 五色の鹿……………六十二

十七 なまけもの……………六十八

十八 月夜……………七十八

十九 たわらとうだ
(一)……………八十
(二)……………八十三

二十 夕暮姫……………九十

二十一 森のりす……………九十八

二十二 ビスマークのきてん……………百十二

二十三 王様とくも……………百二十一

二十四 堀割の穴……………百二十七

二十五 伐りたおされた木……………百三十七

二十六 子供の村……………百五十一

二十七 はだかの王様
(一)……………百五十四
(二)……………百六十
(三)……………百六十四

もくじ おわり

副讀三

副讀三

一 すずしい風

木にはきらく
銀のつゆ。

草にもきらく
銀のつゆ。

海の方から
そよくと、
すずしい風が
今日もまた
私のまどに
吹いて来る。



一 すずしい風

う人たちも、ようやく我にかえって、

「なるほどはだかだ。」

「いや、まるはだかだ。」

とゆうこえがだんくひきわたって、とうく一時にどつと笑い出しました。

王さまは「さては悪者のはたおりに一ぱいくわされたのか。」と気がついて、にげるように御殿へおかえりになりました。そして

「はたおりを出せ。」

とおっしゃいましたが、もはやその時は悪者のはたおりは、かげもかたちも見せませんでした。

あわり

副讀三

昭和五年四月十二日印刷
昭和五年四月十五日發行

版權
所有

Made in Japan

編輯兼
發行者

ホノルル教育會

東京市京橋區銀座西七丁目一番地

印刷者

株式會社 帝國地方行政學會

電話銀座六六〇・六六一・六六二・六六三番
振替貯金口座東京一三・一六一番